

2008年 8月28日

700-0056 岡山市西崎本町1-7

TEL&FAX 086-253-8988



## 盆踊り

## 夏のお楽しみ会



8月22日午後

お楽しみ会を開きました。

この日ばかりは利用日でない人にも参加を呼びかけ総勢16名の方が参加して楽しみました。昼食では調理担当のN君が腕によりをかけ10種類以上の具の入ったお寿司を作り皆さんに喜んでいただきました。

一部の踊りは何度か練習をした「炭坑節」を腕に覚えのあるスタッフを先頭に輪を作り踊りました。踊れなくても唄う人、手拍子をする人それぞれの楽しみ方で楽しんでいただきました。来年は少し早めに準備をしたいと思います。



踊りのあと2部ではカラオケ大会です。

スタッフの司会によるカラオケでは、人前で唄など唄ったことのない人「心臓に悪い」と言いながらも笑顔。前日から練習してきた人、順番が回ってくる直前にトイレに逃げ込む人などがいて終始笑い声が絶えない唄の会となりました。

「今日は楽しかったなあ」との声が多く聞かれ楽しくて良い会が出来たとスタッフ一同も



## 旧日本軍毒ガス工場跡地を訪れて (広島県大久野島)

岡山県人権連青年部は毎年平和学習のフィールドワークを行っています。今年は8月23日に旧日本軍の毒ガス工場跡地のある広島県大久野島でのフィールドワークに参加しました。

大久野島に毒ガス工場があることは知っていましたが、実際訪れて現地ボランティアの方の案内で毒ガス資料館や今も残されている工場跡地を見てみると驚かされることばかりでした。旧日本軍は周囲4Kmあまりの小さな島で終戦まで14年間毒ガスを製造し日本各地の軍基地に運び中国の最前線に送っていました。そして太平洋戦争末期、大久野島は軍の秘密保持のため地図から消されたのです。第一次世界大戦中ヨーロッパでは130万人の人々が毒ガス兵器によって命を奪われた(半数は子ども)と言われます。太平洋戦争当時、毒ガス兵器の使用はベルサイユ条約で禁止されていましたが、日本軍はひっそりと製造し使用していたのです。その工場で作った人達にはそのような危険な物を製造しているとは知らされず働かされていました。徴用された13才から16才の少年や女子挺身隊、地元住民など7000人以上の人たちが毒ガスの製造に関わりその毒ガスによって身体をむしばまれ今までに半数の人が亡くなっています。しかし、まだ半数の人は存命で後遺症に苦しんでいると聞きました。大久野島で製造された毒ガスは主に中国北東部で使用され9万人以上の人々の命を奪ってそして現在、中国北東部に廃棄してきた毒ガスによって被害が出ています。大久野島の毒ガスは原爆と同じだと地元のガイドさんは言います。「今も尚、後遺症に苦しむ人がいること、政府と戦っている人がいること、何よりこの島で造られた毒ガスが今も誰かを傷つけている事、戦後処理はまだ終わっていないことを忘れないで下さい」と。島には国民宿舎、海水浴場やテニスコートなどきれいに整備され子ども連れなど多くの方が訪れてさながらリゾートアイランドと言ったところですが、入り口をコンクリートで塞がれた無数の防空壕あとには今も廃棄された毒ガスが眠っているのです。戦争と平和を考えた一日でした。 美磨